

ななかまど

令和5年7月1日(土)
第60号
一般社団法人
猿 払
ななかまどの会
会 報

人流が戻ってきました

土日の道の駅さるふつ公園は賑わっています

四月二十九日から三年半ぶりに売店「ななかまど」を再開し、六月終了時点で十九回店をあげました。ここにきて観光バスツアーも再開され道内外からの観光客が増えてきました。

店番をしていると全国各地の方々といふれあうことが出来ます。

今年は特にバイクのツーリング客が多く道内はもとより道外からも沢山の旅行客が猿払村を訪れています。ほとんどが「通過型」ですがキャンピングカーで滞在する方もいます。駐車場に停まる車・バイクのナンバープレートを見ると全国から集まっているのがよく分かります。



お陰様で売店でのパンの売れ行きは好調で、早いときには日曜日の午前中に完売することもありました。お昼過ぎには観光バスが多いたいで三台ほど入ってきますが、「パンはこれしか残っていないんだ。」と残念が残ります。その都度あやまりますが、がっかりした顔を見ると本当に申し訳ない気持ちで一杯です。

作りすぎて売り残すと食品ロスになりますから土日の天気と相談して作る量を決めていきます。

人気のパンは「メロンパン」です。メロンパンは土曜日にほぼ完売してしまいます。

「どちらからお越しですか？」とお客さんの反応を



気にしながら積極的に話しかけるようにしてませんが、猿払のイトウの事や道路事情の事、気温や風の事などで話が盛り上がります。

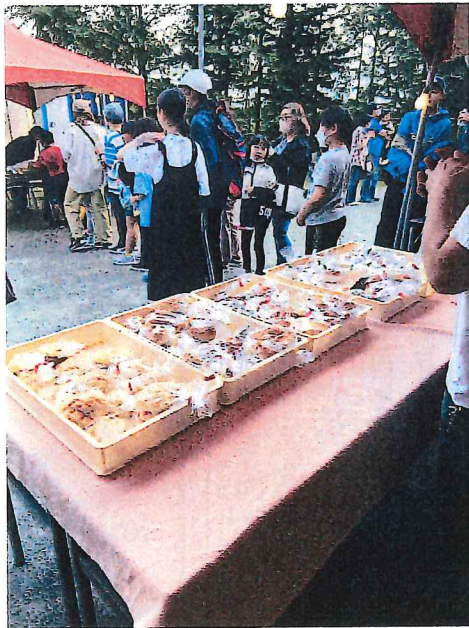
冬に国道が吹雪で通行止めになることなどを話していると皆さん驚かれます。同じ日本でも南北に長いですから風土や生活様式もまちまちです。そのような違いを旅行客とのふれあいを感じられることも店番の楽しみです。

「滞在型の旅行客が増えると村の経済活性化に繋がるといいますが、村に滞在する為の「ストーリー」が欲しいですね。

今月は三年ぶりに観光まつりがありますが、道の駅売店ななかまどでは観光まつりの前日十五日(土)から十七日(月)海の日までの三日間、パンを売ります。店は午前十時からです。お早めにお求め下さい。

4年ぶりにお祭りが戻ってきました

6月は小石・浅茅野、浜鬼、知来別、浜猿、鬼志別で神社祭が行われました



六月十四日（水）小石・浅茅野の宵宮を皮切りに二十三日（金）の鬼志別神社本祭まで各地域のお祭りが四年ぶりに行われました。会でも四年ぶりに鬼志別神社の宵宮でパン販



前回のパン販売の時より人出が多かったようで、久しぶりに集まってきた子ども達や村人達の活気におされ、開店一時間半ほどで完売してしまいました。パンの店の前では「くじ引き」や「スーパーボールすくい」のコーナーも用意され、子ども達の長蛇の列。隣の焼き鳥屋さんも早いうちに売り切れてしまいました。村人みんなが「待ちわびていた」という思いが伝わってきた。鼓笛隊パレードがなくなったのは寂しいという声も聞かれました。



売をさせていただきました。

私（S）がお手伝いしている剣道少年団が、六月十八日砂川市で行われた「全道道場連盟剣道大会」で小学校中学校ともベスト一六に入り、七月二十七日（小）・二十八日（中）日本武道館で開かれる全国大会に出場が決まりました。コロナ禍でも稽古を続けてきた成果が発揮されました。おめでとございませう。



男子一人女子二人の小学生チーム

剣道少年団全国大会出場おめでとう。